

刊夕 日三月九

常磐每日新聞

定価 一部金 一月五拾五圓 郵税五圓
廣告料 五號十二字 一行金五拾圓
日曜祭日の日 休刊
発行所 常磐毎日新聞社
印刷所 常磐毎日印刷株式會社

馬事雜感

T・K 生

今年は大年だといふのに馬の話をするとはちとお門違ひ聊か犬族に對して濟まないと思ひますが、昔から犬馬の勞といつて骨を惜しまず人の爲に盡すといふよい對稱として擧げられてゐますので、犬亦萬更御意に反するところもありません。處で馬の訓練とか名馬鑑定法等に就いて述べるとの御指圖、扱て馬の訓練と云つても簡単に述べれば極めて漠々たるものになり而も一般の方々にとつては餘り興味もなし、又名馬鑑定法等といつても近頃は驚くべき競馬フアンの増加率を示し、從つて名馬の鑑定眼に至つても全く吾々専門家と稱せられる連中も跳足といつても過言ではなく、反つて當を得ないことを述

べて信用された結果、穴を外したとか、競馬俱樂部に奉納し過ぎたなどと御小言を食つても損だと思ふので此の稿は先づ當り障りのないところ馬事に關する雜感とでもして愚説を述べることにしました。

最初に少し堅苦しい話ではありますが、馬といふものは眞の値うちを御紹介致して置ませう。抑々馬は國家的大局から觀て見ますと、平素は地方にありまして、或は農事を助け或は運送に従事し其他幾多の勞役に服しつゝ、吾人に益するところ極めて大なるものが

陸軍省發表に依れば昭和七年の壯丁六十二萬一千八百四十四人中甲種合格者二十八％、乙種三十二％、丙種三十三％あります。一、朝事ある場合之等は殆んど大部分が軍

秋の川 耕 影

亂杭に蜻蛉とまりて秋の川
拾小舟芦間漂ふ秋の川
夕陽に耕馬洗ふ秋の川
のつたりと長蛇の如く秋の川
番ひ鴨淵に浮ひて秋の川
流燈や誰か家の魂ぞ秋の川
水上の發電濁れて秋の川

馬となつて戰場に各種の任務について働かねばならぬ偉大なる價值を存するものであります。處が他の兵

明日の献立
【朝】味噌汁 玉菜 小付
うぐひす豆
【晝】味淋干 小鱈
【晚】ハム オムレツ ベジタ
ブルサラダ

器など、違つて、此の馬ばかりはさあ一大事といふ時に軍需工業動員などを始めて急に製造能率を高める譯に、行くものではありませぬ。それこそ犬のやうに一度に八匹だの九匹だの、仔を産めば結構ですがさうも行かず、やはり平素から之が数を殖すことに努めねばならぬ譯になります。又一面數ばかり殖しても軍用にならない落第體格のものも多くても困ります。従つて當局者は治に居て亂を忘れるの誓へ前述の忘却し得ざる價值に基いて、各種の手段を用ひ産馬能率を高め且つ其の資質の、改善向上を圖つて居る次第であります。現に泥繩といつては失言かも知れませんが日露戰爭の時などははるばる濠洲から一萬頭近い馬を輸入して穴を埋めた歴史がありま

す。今日日本の馬が全般的に其の馬格を高めて來たのも一面にはこれら濠洲産馬の牡馬が戦役を終えて歸つて來て繁殖に携はつたお蔭もありますが、これからは仲々他國よりかうした多數の馬を購入するといふことも出來兼ねると思ふのです。現代は化學の進歩と共に戰爭も化學戰だとか或は機械化だとか、大いに其の面目を一新して來ました之等も或る程度のものでやはり結末をつけるのは人の力です。其の人を直接助けて居るのはやはり生きもの、馬である事は論を俟たない所で新聞紙上でもよく見られる通り、滿洲などの地形では騎兵の活動を必須の要件として居る點でもよく御理解がつくと思ひます。

是非！

御融通には御利用下さい
萬事便利な御相談に應じます

三井質店
平四・電六〇六番

内科

川井内科診療所
川井安子
平町(電話二四三番)

玉屋洋品店
平町田町 電話六五六番

●店員募集
年齢十五、六才、希望者は至急來店あれ

醋はの秘！

是非！素晴らしく乗心地のよい
セリサワのニューカーを御用命下さい。

平・三 芹澤タクシ
電 539番

幼稚園保姆採用

一、資格 高女卒業の方 壹名
一、希望者は履歷書をお送り下さい。
面會日をお知らせ致します。

平町十五丁目二六
私立 認可 清風幼稚園

外科

内臓外科
レントゲン線
醫學博士 諸橋鐵彌
◎新川町二七(電四六四)

難

内科一般

醫學博士 難波陸

平町大町新川端
電五〇二

醫

院

月曜是非

免囚と四百圓

強盗盗十犯、三十年の長い鐵窓生活を終え、模範囚として、獄内で稼ぎ貯めた四百圓の金を懐中に、真人間への出発点へ起つた免囚が五十歳にして知つた家政婦との熱戀に感涙し遂に手持ちの金を費消し盡し、再び惡の淵へと陥込んだ事件が最近の地方紙を賑はした血と汗との苦役に依つて初めて手にする事を得た四百圓の金、それを水泡と歸したを思ひば誠に惜しむべし、更らに進んで、折角惡の所業を清算して、更生の途を力強く踏み締めやうと真人間に立ち歸つた彼が、遂に自己を律し得ずして善道に逆行し、一生を棒に振るに至つた反逆的の自殺行爲は惜んで尙ほ餘りあるといふべきであらう。

先づ平年作

郡下の稻作現況

今年度稻作は未曾有の天候不順から前途頗る憂慮されてゐるが神谷農事試験分場の最近の調査にかゝる稻作状況は氣候が例年に比し低

生共に平年に比し優れ出穂期は例年より六日乃至八日の遅延を見た目下の作況は平年作の見込

降水量

比較的多かつたため草丈に於て中生を除き早生、晩生は平年に稍劣り莖數では早生、中生、晩

強武者熱闘

昨日の郷軍武術大會

再び夏井村優勝

石城聯合分會第七回武術大會は昨日午前八時より既記の如く銃劍術は平商雨天体操場、軍刀術は平第一校講堂、射撃は神谷村東部射撃場に於て開催、郡下各町村より參集した二百餘名の選手が

健軀堂々

入場式を舉行先づ藤田副長の開會の辭に次ぎ國歌を合唱し昨年優勝の夏井分會よりの優勝杯返納各競技に關する注意あつて直ちに競技の火蓋を切り屈強の武者揃ひの事として龍虎相打つ状態な

大接戦を演じたが午

後二時終了、成績を發表して山崎聯合分會長より賞品

稻熱病

の發生しなかつた地方は目下平年作並であるが来る二十日頃までの天候が如何により樂觀は許されぬ

白米入札

品不足の爲め 既報平農倉庫では去る卅一日在庫米六十四俵を入札した結果五等建値一俵十一圓の高値で平町月見町山崎彦太郎氏に落札、前日に比し五十二錢高く本年度に於ける白米入札の最高値を見たが品不足が原因であると

最高々値

品不足の爲め

右成績に依り審査の結果来る二十一、二十二の兩日郡山及若松に於て開催される支部大會出場の代表を左の如く決定した

土木課長

けふ來平

既報一昨日來平の管であつた大石土木課長遠藤技師一

人山軍優勝

水泳選手權爭覇

仙臺礦山監督局主催第二回常磐炭礦水泳選手權大會は曇天に秋風冷たい昨日午後一時から湯本町入山炭礦プール(五十メートル)で舉行された、三炭礦水泳部員及び小學生等延百五十名出

行は都合に依り今三日午後來平直ちに小林平土木監督所長の案内で平町の鋪裝工事状況及び來年度工事區域を視察の後藤原川二蛭田川鮫川橋並に勿來、川部間の三澤隧道を實地踏査して平町に一泊、明四日は夏井川仁井田川の工事状況を調査の上四倉築港を視察して久濱方面に向ふ豫定

海軍志願準備

警中 既早くも海軍兵學校入學試験の準備を始めたが志願者は目下の處五年四名、四年三名、計七名であると

警中教諭新任

湯本町比佐國永氏は過般四日市商工專修學校に轉任した警中教諭囑托石田謙藏氏の後任として本日新任

方面委員任命

川部村兒玉金太郎、鈴木榮、鹿島村三田仙翁、波立市郎の諸氏は此程方面委員を命ぜられた

兩訓導の視察

平第一小學校訓導水竹仁、松本政夫の兩氏は來る十四、五の兩日東京市荒川區第四岩淵小學校に出張教育施設其他を視察する

第一校の級長

既報平第一小學校後級級長任式は都合に依り明日に延期された

種牡馬の検査

郡下に於ける本年度定期種牡馬の検査は來る十月十五日午前上遠野村、午後平町の二ヶ所に於て行れる

初秋蠶が

益々下落

初秋蠶出廻りの最盛期に入つた四倉商市場の去る一日の取引は總量三百九十一貫八百九十斤、最高十十二

時閉會した、記録左の如し

- △二百米リレー 1 入山 二分〇五秒一 2 磐城 3 古河 △四百米自由型 1 菅野(入山)五分四秒九 2 庄司(磐) 3 海老名(入) △百米背泳 1 佐藤(磐) 一分二秒六 2 高岡(磐) 3 赤塚(入) △二百米平泳 1 猪狩(入) 三分二秒二 2 高木(磐) 3 柳井(磐) △百米自由型 1 佐藤(古) 一分一秒九 2 長津(入) 3 佐藤(磐) △千五百米自由型 1 庄司(磐) 二三分五秒二 2 草野(入) 3 海老名(入) △三百米ドレーリレー 1 磐城 四分〇七秒四 2 入山 3 古河 △八百米リレー 1 入山 一分一秒一 2 磐城 3 古河 (小學生競技) △尋常科百米自由型 1 三浦(入) 一分二七秒二 2 長野(入) 3 本間(古) △高等科四百米リレー 1 古河五分三〇秒五 2 磐城 3 入山 △尋常科二百米リレー 1 古河二分三六秒 2 入山 3 磐城 △高等科二百米自由型 1 玉川(古) 三分〇七秒 2 鈴木(古) 3 渡邊

ブドウの木卅二本 根元から切斷さる

畑に行つて見て吃驚 怨恨からと平署の鑑定

下小川村字臺農野常次郎さんは二日朝葡萄約十貫匁の注文を受けたので直ちに自宅附近の葡萄畑に行き棚に鈴鳴りの葡萄を採取せんとしたところ肝心の葡萄樹がふら／＼してゐるので驚いて調査すると五十五本の中ナント樹齡十五年のもの三十二本までが根元から鋸で挽切られてゐるを發見蒼くなつて平署に届けた同署では怨恨からの犯行と見て同村野常次郎(三)及び同人妻ヨシ子(三)を

被疑者と し引致取調べ中であるが兩名は頑として犯行を否認し續けてゐるなほ春次郎は綱次郎と縁戚で而も綱次郎の媒酌によりヨシ子と夫婦になつたが去る七年春次郎は前記葡萄畑のブドウ樹二十五本を綱次郎から譲受け

小作料を十圓でブドウ栽培を始めた處失敗したので翌年返還に就て悶着を起し以來兩者は大猿の間柄となり事毎に反目してゐたものである

嫁を酌婦に 賣り飛ばす

實父が憤慨・告訴

双葉郡龍田村大字井手濱新妻儀助(三)は去る一月長男榮(三)の嫁として娶つた木戸村大字上小堀小澤哲司養女いし(三)を他臺方面に二百五十圓の前借で酌婦に賣り飛ばし更に最近平町四丁目飲食店東家へ百五十圓で鞍替へさせたのでいしの養父哲司は立腹し儀助と榮を相手取りけふ平署へ告訴

したので同署では私文書偽造で取調べてゐる

警女級長 本日決定

警女では本日各學年に於ける後期正副級長を左の如く任命した

(一ノ一)正木千鶴子 林部フヨ(一ノ二)桐谷ツネ

女事務員モダン化

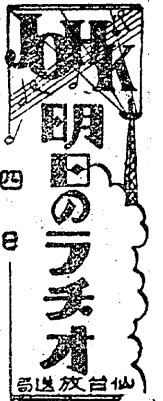
平局が洋裝の制服に改む

洋裁を教授して

平郵便局では女子事務員の執務上敏活を圖る爲め洋裝の制服を定める事となり囑託教師を招き洋裁の教授を行ふ由にて五日午後二時から此の懇談會を局内に開く

一鳥人の 遭難追悼

江名町蓮乗寺では昨日午後一時から反町住職導師となり故増田、島田兩少佐の海軍航空將校遭難追悼會を催し同町在郷軍人分會その他一般有志多數參列懇ろな



明日のラジオ

今晚の部

後六、〇〇(子供の時間) お話「最近の大きな發明」 岡部 長節
後六、二五 講演「川中島の戦」 文學博士 渡邊 世祐
後七、三〇 趣味の話「藝談十二選」 澤村源之助
達野喜美榮 大和田勉子 (四ノ一)大島幸子 佐藤美代子(四ノ二)作山文子 有坂敏子(四ノ三)田名綱キミ 田村タキ(四ノ四) 鈴木サタ 赤塚千代子

明日の部

後八、〇〇 三曲(三元放送) 今井慶松外二名
後八、二〇 ビアノ奏獨 笈田 光吉
後八、四〇 ザアイオリン 獨奏 荒木 和子
後九、〇〇 常磐津三東勢太夫 島 常磐津三東勢太夫
後九、三〇 時報 ニュー ス 氣象通報 番組報告
ハンカチ、石鹸、齒ミガキ粉、端書、封筒、齒磨刷子 用箋、煙草、雜品等に五百

現業委員五十名

住吉屋本店で初顔合

過般管選した水戸千葉宇都宮三運輸事務所管内の現業委員五十餘名は明日午前八時より平町住吉屋本店に於いて新任の披露と第一回の事務打合せ會を開く

新學期の方針

第一、第二、第三各小學校事務協議會は本日正午より第二校會議室に於て開き新學期の方針及び今月分の行事に就いて打合せた

第三教員送迎

三小學校教員橋本キシ氏は今回家學の都合で退職、後任は小泉公明氏と決定したので本日午前九時より同校講堂に於いて兩氏の送迎式を挙げた

大日堂の遷宮

工費千五百餘圓で新築中の平町

裁判所たより

△四倉町字新町七七吉田正氏方自動車運轉助手内山武二(三)は去月十八日無免許で乗用車を運轉自動車取締令違反として料科十圓
△同町字愛宕町青年分團長提灯屋古川松之助(三)は去る六月二十日頃より前後三回に亘り隣家の料理店池田はるさん方に裏木戸より忍び入り壁板に穴を明け屋内を窺見した事發覺家宅侵入罪として罰金二十圓
△湯本町字上町七二古物商佐野良助(三)は前後數回住所氏名不詳の者より古鐵合計約百六十貫を買ひ受けて罰金五圓
△内郷村大字宮字金坂四古物商河越七郎(三)は去る一月から數回同村唐木田重美氏より古着類百五十一点を買ひ受け帳簿に記載せず罰金五圓
△平鎌田町一七自轉車修繕業新川信春(三)は無免許で中古自轉車を賣買交換し古物商取締令違反として罰金五圓に本日各平區裁判所に於て略式命令を以て處分された

論行功賞

けふ傳達

平町ではけふ午前十時から役場會議室に於て既報の日支事變の戦功者に對する論行功賞の傳達式を舉行した

自衛移民に 兒童慰問品

平第二小學校では滿洲に於ける自衛移民團に對し兒童成績品二百点を始め手拭、

戸籍事務視察

宮城縣古川區才判所管内戸籍吏員一行は平地方の戸籍事務視察の爲本月中旬來平する

遞友勝つ

遞友俱樂部部對古鍛冶青年分團の軟式野球試合は昨日午後二時より商業グラウンドに行はれ五

近斬首頭

(編輯上野上野)

田邊南龍(作)
山本英春(筆)

一二四

急飛脚で江戸へ
後に釣鐘の太平と云つたのは此人でございます。

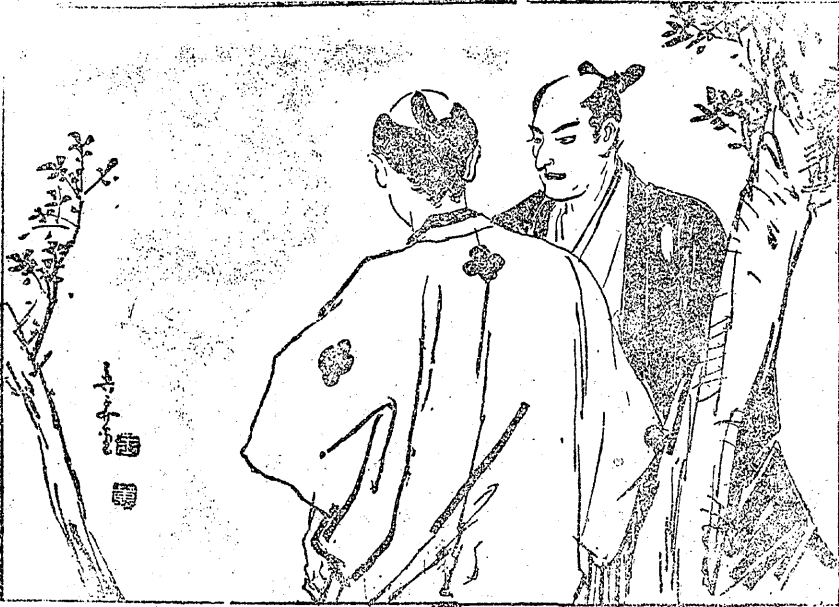
その後姿を隠してをりました平井権八が、播州路へ来ると、人の噂に、江戸の藩隨院長兵衛が此方へ来てゐるといふこと、誠に懐しく思ひましたから、尋ねて行くと長兵衛の立つた後へ「と行く、遂には大阪へ歸つたといふ事が分つたから、大阪へ乗込んで参りまして、天王寺屋にゐるといふから尋ねて行くと

『折角おたづねでいます、元締さんは江戸から赤紙附の早飛脚が参りましてどういふ御用が分りませんが、餘程の急用と見えまして、直ぐにお立ちでございしました』

といふ、サア権八もガツカリしました、折角長兵衛に會はうと思つたのに、夫れも叶はない事になつた、然し權八熟考へるのに、いつまでこんな眞似をしてゐても仕様がな、モウこゝらが御年貢の納め時だらう、訴へて出て御處刑にならう、それにしても此の世で色々御世話になつた長兵衛殿と目黒の普化寺へ行つて師に面會をして禮を述べ

又小紫も一目遇つて死にたいと考へましたが、さて江戸へ行くとも云つても、御配布の廻つてゐる身體容易な事ではありませぬ、ハチどうしたものかと種々考へてゐる内に、ふと一計を案

倉家の家來で、一刀流をよく使つて食祿は八十石を頂戴して、家中の若侍へ剣道の指南をしてをりました、却々學問も出來心得も好い人だ、處が妙なものでも人として一つの癖はあるものよ、我にも許せ敷島の道無くて七癖、あつて四十八癖などと申しますが、此の人は至つてお酒が好きでございませぬ、夫が少しばかり飲ひのぢやアない大酒を好みます、此酒といふものは程よく飲めば誠に好いもの



じ出した、夫はさておき長兵衛の處へ、赤紙附の早飛脚が來て、それが爲に急いで歸る事になつたといふ、一體どんな用事が起つたかと申しますと、長兵衛の身内に江田仁兵衛といふ男がある、此の人は上州安中

てをります、ある日の事、御家老の間宮久太夫といふ人の御息で久之進といふお方と途中で出遇つて『之は先生何方へ』『之は久之進殿、一寸手前は門人の處迄用たしに参りました』

『左様で在つしやいませ、私も少々用たしに参りまして只今歸りがけ、御同道いたしませう』
と、仁兵衛も今日は白面だから久之進と話し乍らやつて來ると向ふから出入町人の樹屋善右衛門といえ者が來た。
『之は久之進様には何れへいらせられました、先生も御同道様で、お茶を差上げたうございませぬがお立寄り下さいませんか』
『左様か、毎度お前には世話になる、先生如何で』
『折角樹屋が申す事でございますから立ち寄つて茶を一服申受ませう』

木村外科科專門醫院

花柳科 外科 科
本院の便あり
平町六丁目
電話三〇九番

看護婦急派

の求めに應じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

太乙膏

御家庭薬として是非御用意下さい
熱い湯や火でヤケドなされた時直ぐツケますればヒブクレにならずなほります
キリ印太乙膏があれば安心です、お試用見本無料で差上げますからドウゾ御遠慮なくいらして下さい。殊にクサにはモットモ良く二、三回ツケればキレイに治ります。

阿康薬舗

平町古鍛冶町一〇
電話四四番

吸入用酸素

純度99%
度量器
寒暖計
關内藥局
電話四〇番

安齊外科醫院

貴方の御家庭に
お手不足は御座いませんか
本會を御利用下さい
直に家政婦を派出します

親切 料金極めて低廉で
妊産婦の御家庭 お留守居番
御病人の付添 炊事や雑用 年寄やお子さんの付添

平町田町
電話四七五番

上原家政婦會

派出多忙に付會員至急募集
平町紺屋町二(電話二二番)
會主産婆上原通子